

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	
施設名	ういず調布深大寺保育園
施設所在地	東京都調布市深大寺東町5-34-3
法人名	社会福祉法人 彩保育会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

「音楽演劇表現」

子ども達がわくわく想像力をふくらませて友達とイメージを共有する事を楽しみ探求心を高める。様々な表現の仕方を知り自己表現する事に挑戦し互いに認め合う中で自己肯定感を育む。

<テーマの設定理由>

当園は、日頃からピアノに合わせて体を動かすさくらさくらんぼリズム遊びや、リトミックを実施している。その事からより自由に体を動かし、発想を広げ自由に表現する事を楽しみ探求して欲しいと考え設定しました。この活動を通し自分の意見を伝える事、友達の意見を聞く事そして認め合い自己肯定感を育みたいと考えました。

2. 活動スケジュール

- ・ 2025年5月～2026年3月（8月のみ2回）全12回
- ・ 4・5歳児クラス
- ・ 月1回、各クラス45分

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

子ども達が自由に体を動かし、動き回れるようクラスの棚のを端に寄せ広いスペースの確保。ピアノ（電子ピアノ）・打楽器・弦楽器・管楽器・リトミックスカーフ・パラバルーン・絵本・スピーカー等

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ①絵本からの連想（絵本の世界への没入体験） 实例1）「おじさんのかさ」では、好きな色の傘をイメージして同じ色のスカーフを持ち自由に動き回る中で自由な発想から水たまりやトンネル・恐竜の出現・パラバルーンと膨らませ友達と共有する。
- ②楽器に触れる どの様な音色なのか、リズムに合わせて体を動かす。動→静の動きを繰り返すなど
- ③即興劇 好きな絵本を選定し、大まかなあらすじを講師が進める中で出てくる子ども達の

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

最初は子ども一人興味の違いから「これはやりたいけど、これはやりたくない」と言う児も居た。「やりたい」と思える事を大切にし一人ひとりのペースで取り組めるような関りをした。「昆虫がこんな風に話したら面白い」「この動物だったらこんな演奏するかな？」と子ども同士で意見を出し合いイメージを膨らませて居た。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

友達と協力して1つの表現をするときには「ここをやるから〇〇君はこっちをやってね」と力を合わせて一緒に活動し表現する事を自然と楽しめていたまた、「それいいね」と互いに認め合う姿が見られた。4・5再で即興劇を見せ合う事で互いに刺激を受けあって見ている児もその世界に引き込まれていた。